推進賞特別表彰を受賞

働きやすい職場づくり

村尾技建

今年で会社設立50周年を迎える地質調査コンサルタントの村尾技建（村尾治祐社長、新潟市中央区）は、新潟市の働きやすい職場づくり推進企業表彰制度の取り組みで、2024年度働きやすい職場づくり推進賞・新潟商工会議所特別表彰を受賞した。波形治副社長が7日に開かれた市主催の健康フォーラムで新潟商工会の能登谷敏常務理事から表彰状を受け取った。

同社は19年度から新潟市健康経営認定制度の取り組みを開始し、20年度にゴールドクラスの認定を受けた。23年度には新潟市健康経営優秀賞を受賞し、今回で2年連続の表彰となった。経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人」にも19年度から5年連続で選ばれており、社員の健康維持に継続して取り組んでいる。

健康意識を高める取り組みとして、毎週水曜日をノー残業デーに設定し、その日の午後4時～5時は「M－JUKU」自のスポーツ奨励金制度という社員教育の時間を確保している。これまでにセルフケアや食生活改善、歯科講習などを専門講師を招いて実施し健康についての理解を深めている。

また、社員の運動機会を増やす目的で、会社独を設けて支援も行い、新潟シティマラソンなど公的スポーツイベントへの参加もサポートする。

村尾社長は「働きやすい職場づくりを考え、引き続き健康経営を実践していく。社員がイキイキと働ける環境を整え、担い手の確保やさらなる地域貢献につなげていきたい」と展望を話す。

村尾技建の波形治副社長（右）

新潟市

72社参加し意識高める

職場づくりフォーラム

新潟市は7日に働きやすい職場づくり推進フォーラムを開催、72社から126人が参加し健康経営に対する意識を高めた。2024年度は、働きやすい職場づくり推進賞で村尾技建や近藤組など5社が受賞した。健康経営優秀賞では4社、ウォーキングチャレンジ・秋の表彰は17事業所が優秀賞を受賞した。

中原八一市長は「全ての業界で人手不足が課題となっている。担い手不足の解消には、誰もが働きやすい職場環境を整備することや従業員の健康づくりを推進することが重要。皆さまの取り組みは多くの企業に良い影響を与える。引き続き取り組みを進めてほしい」とあいさつ。

推進賞の受賞者

基調講演では、事業創造大学院大学事業創造研究科の浅野浩美教授が「人的資本と健康経営―社員の成長と組織力向上にどう取り組むか―」をテーマに説明した。

パネルディスカッションでは、職場づくり推進賞・健康経営優秀賞の受賞社4社がパネリストとなり、コーディネーターに浅野教授と社会保険労務士法人ふじた事務所の遠藤直美特定社会保険労務士を交え「働きやすい職場づくり・健康経営の実践」について意見を交わした。

主な受賞企業は次の通り。（敬称略）

◆新潟市働きやすい職場づくり推進賞

◇市長賞＝新潟藤田組

◇優秀賞＝中喜

◇新潟商工会議所特別表彰＝村尾技建

◇新潟経済同友会特別表彰＝近藤組

◇新潟県経営者協会特別表彰＝新宣

◆新潟市健康経営

◇優秀賞＝TOSYS新潟本社、中喜、北都コミュニティ

◇全国健康保険協会新潟支部特別賞＝高助

2025年2月17日 新潟建設新聞